

当院救急外来を受診された患者さんへ(臨床研究に関する情報)

2020年11月20日

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録を取りまとめる事によって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんの一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 救急外来患者に対する非接触体温計の正確性の検討

[研究機関] JA北海道厚生連 帯広厚生病院 救命救急センター

[研究担当者] JA北海道厚生連 帯広厚生病院 救急科 小松 守

[研究の目的]

救急外来には、体温異常の患者さんが多数来院され、多くは感染症に伴う体温異常ですが、中には十勝地方の“夏は暑く、冬は寒い”気候による熱中症や低体温の方もいらっしゃいます。現在、医療現場においては非接触体温計が一般的な体温測定となりつつありますが、多くの体温異常患者や重症患者が多数来院する当院で、非接触体温計と深部体温計での複数の機器で測定することで、非接触体温計の限界、今後の可能性に関して考察を行います。

[研究の方法]

(ア)対象となりうる方：2021年2月～2022年2月末までに当院救命救急センターにて、体温測定をされた方

(イ)利用する情報：年齢、性別、血圧や体温といった所見など。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前や住所など、患者さん個人を直接特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道帯広市西十四条南10丁目1番地

帯広厚生病院 総合診療科・救急科 小松 守

電話 0155-65-0101(代表)